



西長堀マンモスアパート再始動！ ～半世紀以上の歴史と新たな都心生活の共存～

独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）の前身である日本住宅公団発足から3年後の昭和33年（1958年）、西長堀アパートは、将来の都市生活の姿を探求し、当時では最先端の設備を備え、明るく近代的で快適な生活を提供することをめざし建設されました（西長堀アパートの歴史については、別添1をご参照下さい）。

UR都市機構は、この西長堀について、半世紀以上にわたり培われてきた歴史や先人たちの思いを大切にしながら、現代の生活スタイルに対応した新たな都心生活の場とするための住宅リノベーション等のリフレッシュ工事を実施、リノベーション住宅の募集を2月28日（日）から開始いたします。

つきましては、募集に先立ち、

- ① リノベーション住宅（2種類）
- ② 建設当時の趣きを再現したモデルルーム

を見学できる機会を設けさせていただきますので、ご案内いたします。

～平成28年2月20日（土）・22日（月）（スケジュール等は別紙をご参照下さい。）～
（2月20日（土）は、トークイベント「西長堀マンモスアパート 半世紀の歴史と壁画」を開催します。）



西長堀アパート外観（現在）



西長堀アパート
外観

【お問い合わせ先】

UR都市機構 西日本支社

広報担当：伊藤

TEL：06-6969-9008

MAIL：s-itou04@ur-net.go.jp

《 リノベーション住宅「STAY+ (ステイタス)」 》

都心で暮らす人たちに、自分でアレンジする価値を見出してもらうため、設備更新と洗練されたデザインコーディネートに加え、遊び心を湧き起こさせる仕掛けを用意。



今回募集戸数：5戸

募集住戸の一例： 型式 1LDK、 面積 約40㎡、 月額家賃83,000円

《 リノベーション住宅「VINTAGE SIMPLE (ヴィンテージ シンプル)」 》

デザインされたシンプルな設備と、西長堀アパートらしいヴィンテージなディテールを残した内装。※残す部品は従前の状況による。



今回募集戸数：8戸

募集住戸の一例： 型式 1R、 面積 約30㎡、 月額家賃62,900円

※ ご取材につきましては、別添2の取材申込書に必要事項ご記入の上、FAXにて **2月18日(木) 17:00** までにご返信願います。ご記入頂きました個人情報は、取材対応の為に使用させて頂き、適切に取り扱いいたします。

○ 団地概要

正式名称：西長堀アパート

所在地：大阪市西区北堀江四丁目2番40

管理戸数：258戸（平成28年1月末時点）、管理開始年月：昭和33年12月

※“西長堀マンモスアパート”という表現は、建設当時にメディアで『大阪にマンモス・アパート出現』と報道されたことから、愛称として用いたものです。

○ 報道関係者向け見学日時：平成28年2月20日（土）10：00～17：00

平成28年2月22日（月）10：00～17：00

2月20日（土）14:00～15:00の間、トークイベント「西長堀マンモスアパート 半世紀の歴史と壁画」を開催しており、この時間中も取材可能です。

○ 受付場所：西長堀アパート1階エントランス

○ トークイベント「西長堀マンモスアパート 半世紀の歴史と壁画」（予定）

昭和33年、将来の都市不燃化の夢を託し、土地の高度利用を目的とした西長堀アパート。当時の最先端の近代的な、住宅は憧れの的となり多くの著名人が暮らし、脚光を浴びました。

そして半世紀が経過、リフレッシュ工事で生まれ変わった西長堀アパートの再起動に当たり、西長堀マンモスアパートの魅力を再発見するトークイベント開催いたします。

（登壇予定者）

菅谷 富夫氏（大阪市新美術館準備室 研究主幹）

辻野 憲一氏（Team4.5 畳/ProjectD メンバー）

西長堀アパートにお住まいの方

柏木 大輔（UR都市機構）

※トークイベントの参加人数は15名を予定。

『西長堀マンモスアパート再始動！』取材申込書

FAX 送信先:06-6967-0658

UR都市機構 西日本支社 広報担当:伊藤 宛

貴社名	
番組名/部署名	
取材代表者 お名前	
ご連絡先	電話番号: _____ FAX番号: _____ E-mail: _____
取材人数	記者_____名、スチルマン_____名、TVクル_____名 : 合計_____名
ご参加予定日	2/20(土) ・ 2/22(月)
ご来場予定時間	_____時 _____分
トークショー ご取材予定	有 / 無
その他 (ご要望等)	